

Qちゃん
市内に住む小学生



キュー

Qちゃんの、つぼくら先生！ 放射線のこと教えてコーナー

つぼくら先生
相馬中央病院医師
福島医大主任教授



食べ物の放射性物質

Qちゃん 先生、食べ物に含まれる放射性物質っていつもセシウムが測定結果に使われているよね。それでちょっと気になったんだけど、普段の食べ物にセシウム以外の放射性物質も含まれているのかな？

つぼくら先生 食べ物には放射性カリウムなどの放射性物質がもともと含まれていて、原発事故の前から内部被ばくを受けているんだ。原発事故が起きてからはセシウムなどの人工放射性物質がニュースとかで取り上げられることが多いけど、実は被ばく量自体は原発事故の前から摂取してきたカリウムなどの自然の放射性物質の方が多んだよ。

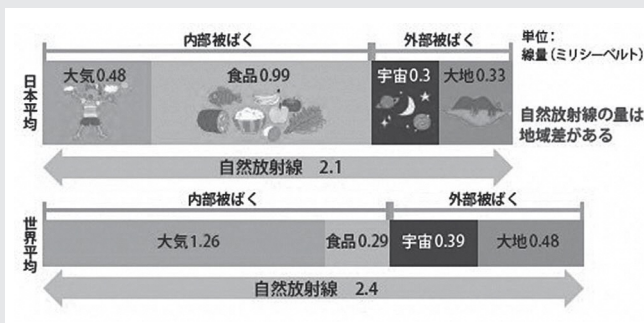
Qちゃん そうだったんだ。じゃあ僕たちは、普段の食べ物からどれくらいの放射線を受けているの？

つぼくら先生 日本人が1年間で受ける自然放射線の量は約2.1mSvほどといわれていて、その中でも食品から受ける内部被ばく量は0.99mSvほどなんだよ。世界の平均と比べて食品からの内部被ばくが多いのは、日本人の食生活は魚介類を普段から摂取する機会が多いからといわれているよ。

また、浜通り地方の放射性セシウムによる内部被ばくの推定放射線量は、令和2年2～3月の時点で年間0.0007mSvほどしかなくて、これは東京や大阪での被ばく量とほとんど変わらないんだ。

Qちゃん セシウムから受ける内部被ばくの方がずっと少ないんだね。ということは、僕たちは普段から放射線の内部被ばくを受けてきているけど、特に身体の影響とかは考えなくても大丈夫ってこと？

つぼくら先生 そういふことだよ。



出典：消費者庁「食と放射能 Q&A 2021 (令和3)年7月21日 (第15版)」

今回Qちゃんが分かったこと

- ▽原発事故以前からカリウムなどの自然の放射性物質が存在していること。
- ▽原発事故由来のセシウムなどから受ける人工放射線は自然放射線と比べ、年間被ばく量が少ないこと。

●問い合わせ先 放射能対策室 (☎ 37-2270)

●問い合わせ先 放射能対策室 (☎ 37 2 2 7 0)

ホームページはこちら



◎これまでの食品の検査結果 (市ホームページ)

ホームページはこちら



※最新の情報は、県農林水産物・加工食品モニタリング情報ホームページ内の「出荷制限等一覧」で確認ください。

自家消費野菜などの放射性物質測定結果

●令和3年12月分 ▽測定件数 6件 (内訳: 野菜4件、果物2件)

▽基準値を超えた食品 0件 ●相馬市で出荷制限などを受けている食品 (1月1日現在)

▽クサソテツ (コゴミ) ▽タケノコ ▽フキノトウ (野生) ▽ゼンマイ ▽タラノメ (野生) ▽原木シイタケ (露地) ▽原木ナメコ (露地) ▽キノコ (野生) ▽コシアブラ ▽ウド (野生)